



1972年発行の『日本列島改造論』

復刻版 日本列島改造論

田中角榮 著 第64代内閣総理大臣

予価：本体**1,980円**(税込)

体裁：四六判・並製・**256**ページ(予定)

ISBN:978-4-526-08270-2

91万部を超える
大ベストセラーの
復刻本

必読!!

2023年3月発売!!

予定目次

「日本列島改造論」復刻にあたって
序にかえて

- I 私はこう考える
- II 明治百年は国土維新
- III 平和と福祉を実現する成長経済
- IV 人と経済の流れを変える
- V 都市改造と地域開発
- VI 禁止と誘導
- VII むすび

本書のセールスポイント

- ①大都市と地方の格差解消、②高まる環境問題への対処、③デジタル化の推進など、現代にも共通する多くの古くて新しい課題とその処方箋が掲げられている。
- インターネット時代を予測したような記述もあり、先見性に満ちた内容。
- 過度な円安に加え新型コロナ、ウクライナ情勢など、まったく先が見えない状況下、日本の歩むべき方向のヒントに。

●ご注文は、下記のファックス申込書にてお申し込み下さい。5000円以上をお買い求めの際は、送料は弊社負担とさせていただきます。5000円未満のお客様は送料として600円(税込)をいただいております。

会社名				部署名			
お名前			TEL			FAX	
住所	(〒 -)				お支払方法	お振込 代引き	
					※いづれかに ○印を!		

—稀代のリーダーがめざしたのは、 人間と太陽と緑が主人公となる“人間復権”

復刻版 日本列島改造論

田中角榮 著

内容概説

1972年(昭和47年)6月20日、首相就任
目前の田中角榮通商産業相がまとめた「日
本列島改造論」が発売された。地方の過疎
と大都市の過密を同時に解消するために、
「国土の均衡ある発展」を掲げ、1970年代
の「日本のかたち」をどのように描いてい
くか、その処方箋を豊富なデータと具体的
な政策を交えながら提言した同書は、政策
本としては異例の91万部を超える大ベストセラーを記録した。

昨年は、同書が世に送り出されて50年。当時の日本と今日の日本では置かれた立場も目指すべき方向性もまったく異なる。しかし、この日本列島改造論をあらためてひも解いてみると、驚くほどの共通課題が見て取れる。①大都市と地方の格差解消、②高まる環境問題への対処、③デジタル化の推進—。帯には副題として「太陽と緑と人間と…」を掲げ、国民が安心して暮らせる住みよい、豊かな日本をつくる、としている。50年前の課題は現代を生きるわたしたちにとっても、相変わらずの「重要課題」である。

政治や経済が混沌とし、閉塞感に包まれている現在の日本にとって、この構想には、これからの国づくりのヒントとなりえる数々の示唆に富んだ内容が盛り込まれている。

日本列島改造論の中では強化すべき分野が具体的に提示されている。電子計算機、航空機、産業ロボット、海洋開発、情報処理サービス、システムエンジニアリング—。いずれも現在の日本経済を支える産業群ばかり。特に世界の自動車産業の中核になると見込まれる電気自動車(EV)開発の必要性が明記されているほか、ロボット産業の勃興もこの政策が原点と言える。



田中角榮首相(当時=昭和47年9月30日撮影)